

Cranes for Peace

折り鶴を通して世界平和への想いをつなごう



企画

シカゴ姉妹都市インターナショナル(CSCI)・大阪委員会
シカゴ日本文化会館



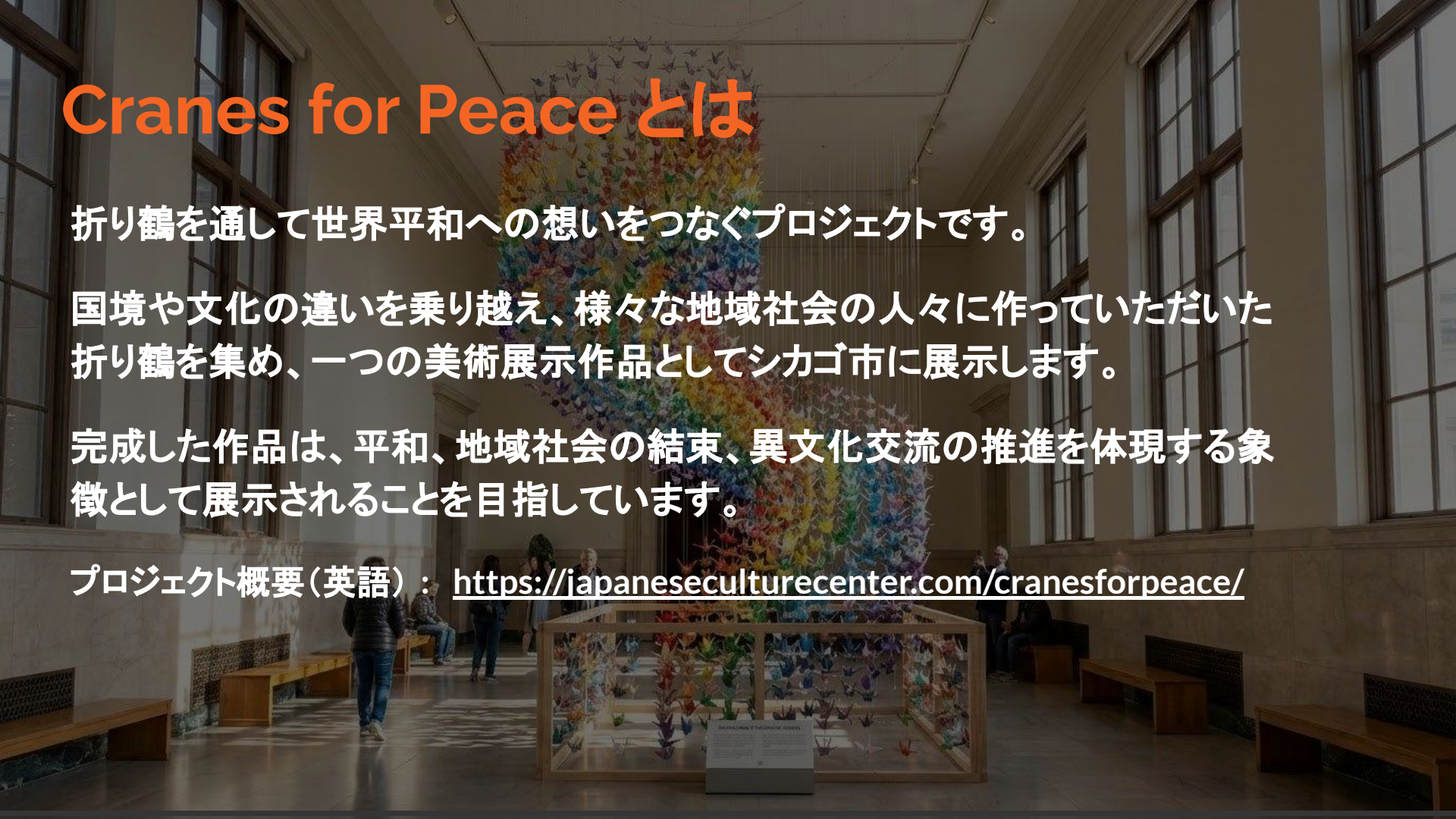
Cranes for Peace とは

折り鶴を通して世界平和への想いをつなぐプロジェクトです。

国境や文化の違いを乗り越え、様々な地域社会の人々に作っていただいた折り鶴を集め、一つの美術展示作品としてシカゴ市に展示します。

完成した作品は、平和、地域社会の結束、異文化交流の推進を体現する象徴として展示されることを目指しています。

プロジェクト概要(英語) : <https://japaneseculturecenter.com/cranesforpeace/>



プロジェクトの背景

2016年、バラク・オバマ大統領は現職の米国大統領として初めて広島を訪れました。

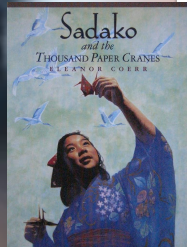
この歴史的な訪問で、オバマ大統領は平和、追悼、そして核戦争のない未来の象徴として、自身の手で作成した折り鶴を寄贈しました。

この出来事に着想を得て、日本文化会館とCSCI・大阪委員会は、このレガシーをさらに発展させたいと願っています。



禎子さんのストーリーと折り鶴

被爆後に白血病を患いながら1,000羽以上の折り鶴を折り続け、12歳で亡くなった佐々木禎子さんのストーリーは、平和を願う象徴として、子供向けの文学作品や教科書を通じてアメリカでも広く知られています。

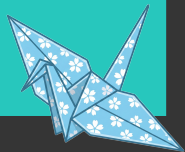


プロジェクトのゴール

様々なバックグラウンドを持つパートナーに協力を要請し、折り鶴を作成・寄付して頂きます。寄付された折り鶴は一つのパブリックアート作品を制作するために使用されます。

目標総数

10,000羽



完成予定日

2026年9月21日
(国際平和デー)



想定する参加団体

シカゴ市、大阪市そしてその他の姉妹都市における教育機関、地域主催の組織・非営利団体、芸術・文化施設、宗教機関など





1. ご協力をお願いしたいこと

→ ご寄付いただく折り鶴の数

一団体につき1000羽の折り鶴のご寄付をお願いいたします。

※団体の規模によっては1000羽の提供が難しい場合もあると思いますので、寄付できる数が限られる場合はご相談ください

→ 送付先

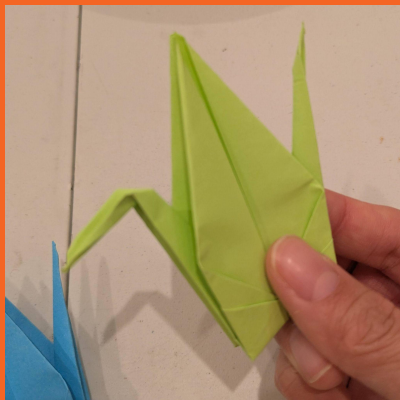
Japanese Culture Center

2940 N. Lincoln Ave, Unit 2, Chicago, IL
60657 United States of America

→ 寄付受付締切

2026年8月15日必着





2. 折り鶴を送付する際の注意点

- **折り紙のサイズ**
15cmの正方形サイズ
- **色について**
色は特に指定はありません。模様のついていない、無地の折り紙をご使用ください
- **送付に際して**
折り鶴は膨らませたり穴を開けて束ねたりせず、写真の様にピッタリと折り畳んだ状態のままで全て送付ください。
- **その他**
折り鶴に団体名(正式名称)と折り鶴の合計数を書いた紙を同梱ください





3. SNSでのプログラム参加拡散のお願い

本プログラムに対する皆様の思いやメッセージをたくさんの人に届ける取組みについても、併せてご参加いただけたら幸いです。

→ 参加者のお写真や、ショートビデオなど

折り鶴の制作風景や、制作に参加してくださった皆様の集合写真・動画などのファイルをご参加者様のFacebook、Instagramアカウントにてアップロードをお願いします。

→ 一言メッセージ

写真・動画のアップロードに併せまして、「世界平和」や今回のプロジェクトに対する思いなどについてメッセージを一言添えていただければ幸いです。英語ですとよりたくさんの人に直接メッセージが届きますが、もちろん日本語でも構いません。

→ タグ付けのお願い

併せて以下のアカウントやハッシュタグをつけてポストしていただけますと、検索しやすくなったり主催団体がまとめて情報収集できますので、ご協力お願いいたします。

@cranes_for_peace

@japanese_culture_center

@worldbusinesschicago

@chisistercities

#cranesforpeace



作品設置について

- 設置場所：2026年3月現在関係団体と協議中
- 各参加団体が寄贈した折り鶴を収集し、1つの美術作品として展示
- オバマ元大統領が広島に寄贈した折り鶴のストーリーに起因したプロジェクトの発足理由について、そして各参加パートナーへの謝辞を表明するパネルの併設
- コミュニティの団結と平和の継続的な追求を表す視覚的なシンボルとして展示
- 展示終了後は作品を分解し、寄付していただいた折り鶴をシカゴ市内の医療施設などに寄付させていただく予定です。

スケジュール

2026年3月

プロジェクト開始
参加団体の発掘・協力要請

2026年9月21日

展示作品公開

2026

2027

2026年8月中旬

折り鶴収集一旦〆切
展示作品制作開始

2027年

シカゴ市内の他施設でも
再展示を検討中

企画団体について

シカゴ姉妹都市インターナショナル ・大阪委員会

1973年よりシカゴ市と姉妹都市である大阪市の間での文化・教育・ビジネスの交流の促進に貢献。2023年には姉妹都市提携50周年を迎えた。

委員長:名嘉君代氏

日本文化会館

1977年より伝統的な日本文化をシカゴやアメリカに広めることに貢献。東京・合気道世界本部(合気会)の元主任師範であり、禅の師でもある豊田文雄氏によって創立。

館長:Stephen Toyoda氏





Thank you for your cooperation!

ご協力誠にありがとうございます！

何かご質問ありましたら CSCI・大阪委員会メンバー・高良
(こうら)までご連絡ください : satokorambxl@gmail.com